

科目名	日本語の音声	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	音声（声）とは何だろうか？音声はどのように作られているのだろうか？「か」や「さ」には「が」「ざ」といった濁音があるが、「あ」や「ま」などにはなぜ濁音がないのだろうか？発声や発音のしくみについて理解を深めていく。
	到達目標	1. 発声や発音の仕組みについて理解する。 2. 標準的な現代日本語の音声における母音・子音・アクセントなどの特徴を理解する。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 音声と音声学 (3) 子音① (4) 子音② (5) 子音③ (6) 母音 (7) 現代共通日本語の音声① (8) 現代共通日本語の音声② (9) 音節とモーラ (10) アクセント① (11) アクセント② (12) イントネーションとプロミネンス (13) リズムとポーズ (14) 音素と音素論 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】沖森卓也『日本語概説』朝倉書店、2010年、ISBN 4254515235 【参】斎藤純男『日本語音声学入門 改訂版』三省堂、2006年、ISBN 4385345880 【参】松崎寛・河野俊之『よくわかる音声』（CD付）アルク、1998年、ISBN 4872349415	
成績評価方法と基準	<基準>発声・発音のしくみや、日本語の音声における子音・母音・アクセントなどの基礎的なことが習得できしており、また、現代共通日本語の音声の特徴などが理解できていれば、合格とする。 <方法>テスト50%、小課題30%、受講態度20%	
備考	教科書は、「日本語の文法」と同じものを使用する。	